第 1 巻



軍師 黒田官兵衛伝

【くろだかんべえ】

Gunshi
Kuroda Kanbee-den

重野なおき

Shigeno Naoki

JETS COMICS

JETS COMICS

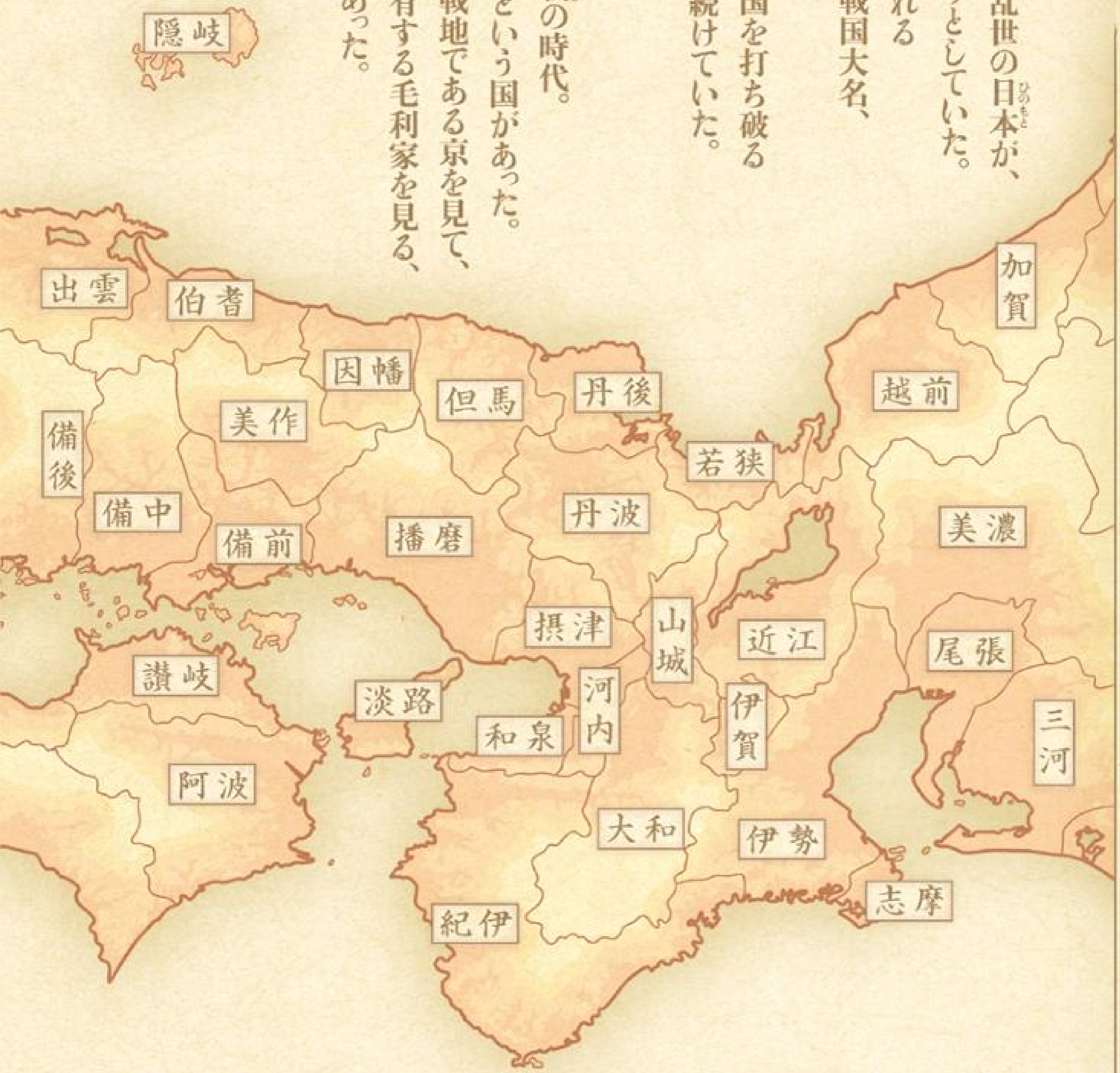
軍師 黒田官兵衛(くろだかんべえ)伝

1

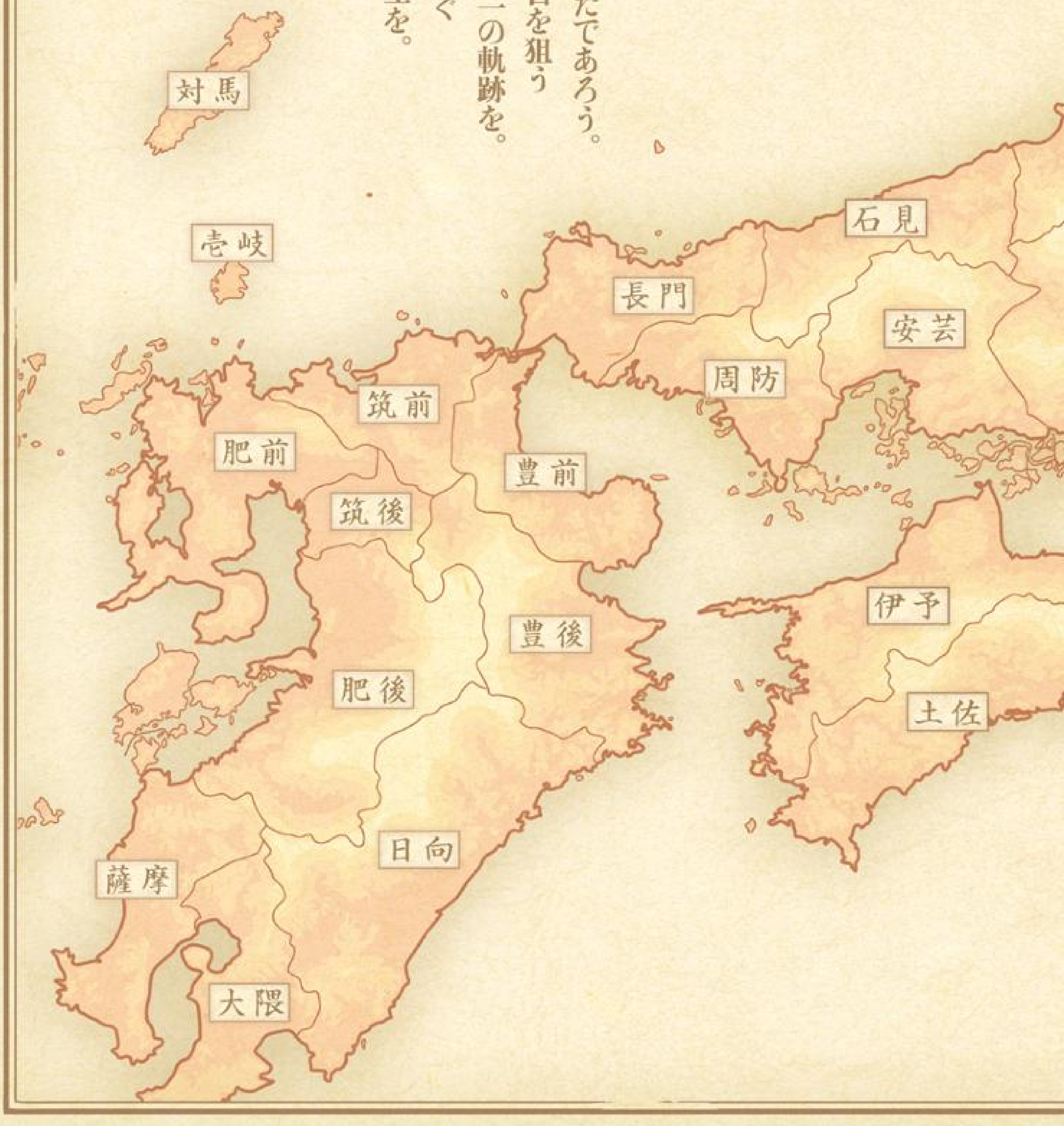
重野なおき

百年続いた乱世の日本(ひのもと)が、
統べられようとしていた。
魔王と字(あざな)される
新進気鋭の戦国大名、
織田信長は、
名だたる強国を打ち破る
奇跡を成し続けていた。

時は戦国。戦(いくさ)の時代。
山陽に播磨(はりま)という国があった。
東に戦の激戦地である京を見て、
西に大国を有する毛利家を見る、
狭間の国であった。



この時、誰が予想したであろう。
播磨から戦の表舞台を狙う
軍師が描く、天下統一の軌跡を。
そして、彼に降り注ぐ
理不尽なまでの人生を。



C O N T E N T S

遅れてきた男



軽率な天才



出るに出られない



でも少し思った



薬名「玲珠膏」



しっくり来た!!




1 播磨の風雲児とその妻

目なら何でも


日本一の軍師なんて
無理です
ガーン
妻よ……
無理ってなんだよ!!
お主の目は節穴か？
ならこの目薬を使え!!
節穴だって治してみせる!!
どんだけ万能なんですかそれ

速攻の男


あなたは確かに頭も良く兵法にも通じていますが
問題はその事を急ぐ性格です
なにィ？
二年前
お初にお目にかかります
光にございます
歳は十五です
さー光!! 世継ぎ作るぞ!!
今日も明日もあさっても!!
この松寿丸だって嫁いで一年で産まれましたし
そうだったなー

有名人


軍師が事を急いじゃダメなのか？
なりません
漢の張良しかり蜀の諸葛亮孔明しかり
名軍師と呼ばれる者は皆 慎重に事を運ぶ人ばかりです
む さすがわが妻…
そう 孔明といえば最近 織田家に仕えた「今孔明」の異名を持つ…
竹中半兵衛殿もそうでしょう？
ぴく

ただの信奉者


そう!! そいつだ!!
竹中半兵衛だ!!
織田家重臣木下秀吉の軍師!!
斎藤家臣時代にはたった十六人で稲葉山城を乗っ取ったといわれる天才だ!!
ワシはこの方と智略を競ってみたい…
その前に花押(サイン)を一筆欲しい!!
あと手を握って一緒に記念画描いてもらって…
すでに負けてる気がいたします

新作



ちなみにこの妻の光は
史書によると「才徳兼備」であったといわれる
皆がそう言っております
「才色」じゃなくて「才徳」?
――って何だか…
色気が無いみたいじゃんか
ぶすッ!!
いえっ徳が非常に高いという意味と思われます!!
そうだったかすまんな善助
さぁこの目薬を!!
そのためだけにつぶしてませんか?

ふれないで



ぁよく効いたすごい!!
色気が無いからって訳ないか…
光こんなに可愛いんだし!!
人前でなんて事を!!
――まぁ部分的に欠けてる所はあるが…
気にしてたのか!!
ペしペしペし
側室を持つのが普通のこの時代で官兵衛は光以外妻を持たなかった
実にラブラブである

激動の播磨



頼りない主君



決断の日


天下の形勢が定まらぬうちに小寺家を大きくしたかったが…間に合わなかったか
残された道はどちらかの強国に従って家を保ち好機を待つしかない
タタタタ….
タッ
そうやって釣りのふりをして政事について考えてるのですね?
善助か何かあったか
御着城で大評定を開くので至急 官兵衛様も来るようにとの事!!

今夜は漬け物


毛利か織田か…か
いったん帰るぞ
家老達の様子はどうだ?
意見は真っぷたつに割れ収拾がつかないもよう…
いいねえ!!
道理をもって大殿も家老達も説き伏せてこそ軍師ってもんだ!!
おかず用意しなくていいって言ってたではありませんか!!
すまん
がっつり釣る気だった!!

辛口夫婦



ここから始まる



❷ 小寺家究極の選択


新興の織田か
盤石の毛利か
肉弾軍師に
母上
父上はいくさにいったのですか？
官兵衛の息子 松寿丸
そうですよ
あなたの父にとって評定（会議）も戦のうち
頭と口で戦うのです
頭突きとかみつきこうげきですか？
松寿丸かわいー♡
ギュー

普通にして



小寺家もそう



断言


次に織田家です
信長は今川義元を桶狭間で破るに始まり浅井・朝倉を滅ぼし…
つい先月!! 長篠において武田軍を大量の鉄砲で破りました!!
しかも信長は主要な戦は全て自ら出陣しています
元は尾張一国の小大名から二十年で十数か国の大大名になる躍進ぶり…
やがて天下は織田信長のものになりましょう!!
当家も織田家に従ってこそ発展するものと思われます!!

苦しまぎれ


領土の広さは毛利も負けてないぞ
畿内の織田と中国地方の毛利とでは土地の重要度が違います
官兵衛は理路整然と毛利派を説き伏せていった
くっ……
官兵衛殿…お主少々織田家の肩を持ちすぎでは?
織田家と密約でも交わされたのではあるまいな?
ざわ。。。。

がんばれよ



踏み出させて



軍師泣かせ


ぱん!!
帰ったぞ光!!
明朝岐阜へ向かう!!
岐阜…
つまり織田家に付く事が決まり使者として殿が向かうと
うむ!!
小寺家の新たな一歩であると
そうだ!!
ただ家中にまだ毛利派が残ってる他
道中 敵地を通るため大変危険な任務であると
妻が頭良いと熱弁ふるえなーい!!

血が騒ぐ


殿 道中の敵の目をかいくぐるには…
おう善助
姿を行商人などに変え向かった方が安全と思われます!!
あ
なら目薬屋の行商人だな!!
やると思った!!
目標百個完売!!
全力で売る気だ!!

でも避けない



いきなりだ



おまけ① 黒田家の出自


黒田氏は元々近江国
黒田村の武士だった
黒田村
しかし一五一一年
黒田高政(官兵衛の曾祖父)が
軍令違反を犯し国をおわれ
姫路
高政の子・重隆の代に
播磨国姫路に移り住む
重隆は姫路で
家伝の目薬を売り
財をなし
玲珠膏
得た金を低金利で
貸し付ける事で繁盛し
さらに金を得て
土地を買い 人を雇い
姫路の土豪(有力武士)へと
成長していった
ある日 重隆は子の
職隆を呼び
今は戦国の世
どこかの大名に
頼らねば
生きてはゆけぬ
ワシは小寺氏に
仕える事にした
だがそれには
手みやげが必要だろう
黒田親子は小寺氏の敵の
土豪・香山重道を討伐し
うおー
それを手みやげに
小寺氏の家臣になる
あっぱれ
なおこの時 黒田家は
「小寺」の名字を与えられ
ましたが まぎらわしいので
「黒田」で統一します

おまけ② 若き日の官兵衛




小寺家家臣
黒田官兵衛
使者として岐阜の織田信長の元へ向かう!!
③使者もひと苦労
急ぐの中断
事は急を要する…
ザッ
急ぐぞ善助!!
ザッ
はっ!!
あ!!
官兵衛様だ!!
何してんのそんな格好でー
あそぼー
いいかん
子供を近付けては!!
我が殿は…
ちょっとだけだぞー
めっちゃ子供好きなんだ!!
自宅で近所の子供達を好き放題遊ばせたという記録が残る

光も困る



敵地を通る事も危険ですが
家中の毛利派が刺客を差し向けてくる危険もあります…
父上が心配なのですね?
ばれましたか…
私が歌を歌って母上を励ましてさしあげます!!
まあ!! お願い!!
ホゲェ〜
松寿丸は音痴だったといわれる

非常事態



いやー子供はいいなあ
急ぐって言ってたのに!!
目薬屋さんですかな? ひとつ売って下さらんか?
はい よろこんで!!
またー
よく効きますぞ!! 黒田家秘伝の「玲珠膏」…
わ?

目薬馬鹿


ガ
殿――!!
毛利派の刺客か!!
あー玲珠膏が!!
さては商売敵の目薬屋の刺客か!!
殿は切れ者なんですか馬鹿なんですか!!

何よりです!!


ザ
ザ
ザ
ザ
殿は退がってて!!
我らで相手をします!!
すまんな最近本より重い物は松寿丸しか持ってねーんだ
いいお父さんですね!!
あ でも昨晩光をお姫様だっこしたっけか
はいはいアツアツなんですね!!

助っ人登場？



黒田家最強の男



一網打尽


後に黒田家の両翼として名を馳せる二人
「分別者」(真面目・律儀)な栗山善助に対し
母里太兵衛は
おお こんな所に角材が
ずい
え
ちょ
うそだろ…?
ぬりゃあああああ
ドガガガガガ
「無分別者」(乱暴・型破り)であったといわれる

殺られそう


ふん!!
かかなわねえ 逃げろー
雇い主に伝えな!!
母里太兵衛がいる限り官兵衛様は殺れねえってな
そうっスよね殿!!
そ そうだな……
角材当たってたー

仁愛の将


おーいてぇ
すまねえ殿!! オレはまた何て事を…
何なりと処罰してくだせえ!! 手討ちでも切腹でも!!
ばーかするわけねーだろ
お前も知ってんだろ
官兵衛は
家臣に落ち度があっても死罪にした事は生涯一度も無かった
一人殺しちまったかー……
戦国時代には珍しく命を奪う事を嫌った男である

買わないと


お前達は城の父上に毛利派に警戒するよう伝えてくれ
岐阜へは善助と太兵衛と三人で向かう
大丈夫ですか?
なあに太兵衛がいりゃあ百人力だ
殿……
行くぞ岐阜へ!!
ザッ
数分後
酒がきれて手が震えてきた…
中毒か!!
これさえなけりゃあなー!…


4 軍師 大海を知る
一五七五年七月
官兵衛 岐阜城下に
たどり着く―――
玲珠膏
すげー
にぎわいだ!!
これが
「楽市楽座」(商売の自由化)と
「関所の撤廃」の成果か…
あ 殿ー
「目薬売り歩きたい」
って思ってませんか?
ダメですよー
使者ですよ!!
人が集まれば銭が流通し
経済が活性化する
考えるのもすごいが
実行に移すのもすごいな…
いや
店を構えたい!!
もっとダメですよ!!

会えるけど



かわいい顔して



よく聞く名



目標がそこに



下っ端オーラ



光ひとすじです!!



宴会武将


我が小寺家は信長公に味方する事に決めたので
秀吉殿に仲介をお願いしたくて参ったのです
おお!! それは吉報!!
播磨国は毛利家との境目!! 小寺家が味方になれば毛利家攻略の足掛かりとなるでござる!!
毛利領
織田領
お
瞬時にそこまで理解するのはさすがといった所か…
これは腹踊り披露してる場合じゃないでござる!!
初対面でするつもりだったの?

すごい主従だ


さっそく信長様に取り次いで来るでござる!! しばし待たれよ!!
こんな夜更けに? 失礼では?
はっ!!
それだけ信長公と秀吉殿は心許せる仲という事か!!
眠くて機嫌悪かったみたいでござる
だめじゃん!!
え? いや 明日の昼 面会の約束取りつけたでござるよ
成功なの? 殴られるのは日常?

かわいいなあ


翌日 岐阜城
こちらでお待ちを
信長公はどんな御方だろうか…
聞けば摂津国大名の荒木村重殿に親睦の席で
手元にあった饅頭に刀を刺し「食え」と差し出したとか…
ん?
手元に饅頭があったって事は
信長公は甘党か?
プッ
?

英雄対面


お入り下さい 織田信長様です
どん
どどん
小寺家の家老か
遠路はるばるご苦労である
甘そうな黄色い果実食ってる!!
まじ甘党か!!
信長は日本で初めてバナナを食べた男である
さあ聞かせてもらおうか!!
小寺家はどう織田家に味方するのかをな!!


これが
畿内周辺十か国を
束ねる大大名
織田信長公か…
5 甘くて危険な会見
でもあげない
小寺家家臣
黒田官兵衛にございます!!
ワシの言動に
小寺家の命運が
かかっているのだ!!
フウゥゥ…
スウゥゥ…
お主…
そんなにバナナの
においを嗅ぎたいのか?
ちょっとだけだぞ
ただの
深呼吸です!!

終わらなかった



カッコついてない



やはり大大名



これが自然だ



夢の確認



それでも目指す



襲撃？


では拙者はこれにて失礼いたします
ほっ・・・
やっと終わった・・・・
待て
チャキ・・・・
と殿ォ!!
ズバッ

無駄にはしない


とん
ずるり
名刀「圧切長谷部」だ
お主に与える!!
頼りにしてるぞ官兵衛!!
斬ったリンゴは信長様がおいしくいただいた!!

すごいけど



もうひと面会






秀吉の治める
近江国長浜城
こ これは…
むう……
城の造りも立派だが
湖岸に建てる事によって
ふふふ
すごいでござろう
はい……
水運による商業が
盛んな城下町を
形成しているのか!!
いつでも泳げるので
ござるよ!!
一番乗りィ!!
ちがうしー!!
もう脱いでるし!!

貧しかった頃の名残り



あのひとのにおい



忠告のみ



持っててよかった



斬新な遊具



大酒豪の出番



いずれわかります



一番心配



何かやってる


半兵衛 官兵衛を どう見る?
昨晩 話し込んで みましたが…
多少 軽率な面も あるようですが
軍略 弁舌 志なども含めて かなりの人物ですね
私の後釜として 殿の軍師になって もらいたいくらいです
おいおい
半兵衛にはまだまだ 働いてもらうでござるぞー
二日酔いに 船はキツイ…
うげーー!
湖に吐け 太兵衛ー

戻りたい!!


実り多き旅だった!! 目的は全て果たせたぞ…
その頃 播磨国 御着城では
今からでも 毛利家に 付くべきです
信長は比叡山を 焼き討ちするほどの 暴君ですぞ!!
主君 小寺政職が 再び揺れていた
しまったーー!! 半兵衛殿に花押(サイン) もらうの忘れたー!!
まだ狙ってたん ですかそれ!!



7 中間管理職軍師
信長公に謁見し――
首尾よく織田家の傘下に入る事ができました!!
ううむ ご苦労であった
だがよく考えたのだが…
ややっぱり毛利家に付いた方がいいのかなー…なーんて
ニヤリ
ころっころ
信長殿のやり方は強引すぎるというか〜〜 信用できないっていうか〜〜
ちなみに近々羽柴秀吉殿を大将に織田家の大軍が播磨に乗り込む手はずです
いや 織田家だな!! うん!!
ちっ!!

隙あらばやる



さすが猛将



こっちを強調



喜びの舞い



気にしてませんよー



妻がライバル？



善助ふんばれ


私は殿が心配で…
ぐい
大丈夫だワシは死なん
——なんて事は言わん武士だからなヘタすりゃ明日にでも死ぬ
だからこそ心配しすぎは時間がもったいないぞ
夫を信じてもう少し楽に生きろ
コク……
殿の屋敷から酒のにおい!! 宴会かな?
ま 待て今突入したらやばい気がする!!

計算外


ところがその後状況は変化する
なんですと?
織田軍が…
来られない?
畿内と北陸での戦で手一杯になり…
秀吉の弟
羽柴秀長
おそらく一年以上は播磨に軍は送れないとの事です

西へ東へ身内へ



三本の矢 動く




官兵衛を語る上で欠かせない特徴
それは「倹約家」であるということ
ポリポリ
8 狙われた軍師
逸話に「野菜の切りくずは捨てさせず塩漬けにした」
ほやほや
すぽ
「家臣の屋敷の庭に梅を植えさせ梅干を作らせた」
おかずになるぞ!!
「使い古した足袋を家臣に安値で売っていた」などがある
五文で!!
せめて洗ってほしい…

自慢開始


殿 荒木殿がお見えです 大事な話があるそうで
お━━ 官兵衛殿!!
織田家家臣 荒木村重
隣国・摂津国の領主で この時期 小寺家との 外交を担当していた
今日もたくさんの名物を持ってきたぞ!!
またか……
趣味は茶器収集

割られる


官兵衛は若い頃は茶の湯に興味が無かったといわれる
??
それは由緒ある高麗茶碗で
拙者にはよくわかりませんが…
太兵衛ならわかるかもしれません
ほう!! 猛将 母里太兵衛殿が?
宴会でよく回してますから
おーい
呼ばないで!!

超高いぞ!!


それよりも!! 織田軍がこの播磨に来てくれるという話はどうなりました?
本願寺や上杉との戦のせいでまだ動けぬ
さらに…良くない情報を耳にした
今日はこっちが本題だ……
毛利家が近々 小寺家を攻めるらしい
ぎゃー 高麗茶碗——
ゴッ
ガッ
ゴト

標的


いつかは播磨に攻めてくるとは思っていたがいきなり小寺家とは…
それがな官兵衛殿 毛利家の狙いは…
ス……
お主だ
お主の説得により播磨国の諸大名が続々と織田方になっている
毛利家としては邪魔な事この上無いだろう…
小寺家討伐軍というより黒田官兵衛討伐軍といっても過言ではない

もう持って来ない



あきらめるな!!



十倍の敵



生きたいのが人間



でもわかる



軍師本領発揮




侵攻する毛利水軍五千!!
毛利家武将 浦宗勝
迎え討つ黒田軍はわずか五百!!
「三本の矢」が出張るまでもない!!
黒田官兵衛ごときこの浦宗勝が討ち取ってくれるわ!!
おおお?
我が軍の兵が増えている!!
景気づけに
姫路城内
殿はこの兵力差でどう勝つおつもりなのか…
一万…いや十万か?
酒飲んだだろ太兵衛!!

策士と言え



静まらなくても…



たまたま正解



わかる二人



近くにいる



いやそこまでは



あと3回は言う



善助も強いよ



内心ドキドキ



立ってるのも戦!!



⑩巻き込まれる若者


黒田官兵衛英賀合戦にて毛利軍に大勝する
えいえいおー
そんな兵法無い
すごい…十倍の敵を撃退した!!
へへっ
さっすがうちの殿だぜ!!
政職様もお喜びになるであろう!!
完全に毛利家を怒らせた…
敵兵を殺さずに撃退してほしかった…
無茶言わんでください!!

子供ゴコロ



逸話に残るレベル



やすらぐー


——で情勢はどうなのですか？
毛利家が黙っているとは思えませんし
小寺の大殿もいまだ煮えきらない…
光 すまんが戦の後で疲れているのだ
あ
そうでしたね申し訳ありません
だから膝枕で語らせてくれ
はいはい

起きた


たしかに今は苦しい状況だ…が
うと うと
織田家が毛利討伐の軍を動かせば一気に好転するんだ…が…な…
くー…
ねてしまいましたか
殿 戦後処理の事でご相談が
ゴン

愛妻つながり



甘党として



最終確認



果物!!
野菜……かな?
それはいずれ議論するとして
毛利家が播磨に手を伸ばし始めたがどう思う?
ゆゆしき事態!! 今こそ毛利討伐軍を播磨に送るべきです!!
だが播磨の諸大名はいまだに織田か毛利かで迷っているとか…
…よし!!
播磨国の全大名に伝えろ
織田家に味方する証として「人質」を差し出せと
拒む者は毛利家と共に滅ぼしてやるとな!!

言い訳



――という通達が小寺家にも来た
ざわざわ
味方すると決めた以上出さねばなるまい
では殿の子の氏職様を?
いや 氏職様はまずいぞ!!
政職の子の氏職は病弱な上愚かだったといわれる
今日もだるーい
出したいのはやまやまだが織田家に迷惑かけられんしな〜
あー無念だー
出す気 全く無いな…

苦渋の決断



10歳の別れ




松寿丸を
織田家へ人質に…？
⑪はじめての人質
自力で察する
く……
説明するのがつらい…
織田家の毛利討伐が近い
←足がかりとなる播磨国の傘下の大名に人質提出命令
小寺家の息子は病弱で愚か
←重臣から出す事に
←交渉担当の黒田家が適任
いいです見当つきました…
賢い妻だとこういう時助かるなあ

無理しちゃって



言いすぎですよ



わくわく優先



無礼討ちされる



ついさっき


一五七七年九月
近江国安土城
――なるほど
小寺家の人質としてお主の息子を連れて来たか…いいだろう
もぐもぐ
これが信長公……なんか食べてる
松寿丸と言ったな
ひとつ忠告しておこう
バナナの皮を踏むとすべって頭を打つ…痛いぞ!!
やったんだ…

術なのか


この人質は官兵衛の織田家への忠誠の証…
フ……
小寺政職の倅などより何倍も嬉しいわ!!
秀吉!!
はっ!!
松寿丸はお前に預ける!!ねねの元で大切に育てよ!!
ははーっ!!
松寿丸殿!! 我が家秘伝の「草履あっための術」を伝授するでござるよ!!
せんでいい

「汚名返上」「名誉挽回」



方針のズレ



芽生え


カッ
カッ
ワシも摂津国の領主なのに…
織田家武将、荒木村重
本願寺討伐軍は佐久間殿が総大将になり
摂津国
今また毛利討伐軍は秀吉殿に…
もうワシは織田家にいても
将来は無いかもしれんな…
殿?

入城問題発生


播磨国御着城
羽柴秀吉が総大将だと?
元々草履取りだった男ではないか…
そんな奴が毛利に勝てるわけがない!!
もしや…この城を乗っ取るのが目的なのでは?
たたっ
殿!! いよいよですぞ この御着城に織田軍を迎え入れる準備をしましょう!!
織田軍は一兵たりとも入れぬぞぉ――!!
この期に及んで何を――?

⑫それでも軍師は裏切らない



人目無視



半兵衛のこだわり



百戦錬磨


我らを御着城ではなく
お主の姫路城に？
はっ
そちらの方が拠点に
ふさわしいかと…
全然かまわんで
ござるよー
ほっ……
勘づかれなくて
よかった…
小寺政職殿が我らを
信用してなくても
ささいな事だし
勘づいた上で平然としてる
さすが織田家の重臣――!!

ためそうかな


姫路城
小寺殿が
いまだに迷う理由も
わかるでござるよ
小寺殿はずっと播磨国内で
小競り合いを続けてきた
そこに突然 織田や毛利が
従えと言ってきても実感が
わかないのでござろう
？？
その通り…
我が殿は視野が
せますぎるのです
何度も秘伝の目薬
「玲珠膏」を勧めたのに…
視野も
広がんの？
すげー

何だヌフフフって



上機嫌



なんだかんだ名将



ガスも想像以上



抜擢



さて!! ここからが本番でござる!!
福原城
上月城
これから攻める二つの城は…
備前・美作二国を有する宇喜多家の傘下!!
さらに宇喜多家は毛利家の傘下でござる!!
つまりこれは毛利家への攻撃を意味する!!
この大事な福原城攻めを…
官兵衛殿と半兵衛に任せる!!
ははっ

両兵衛共闘



すでに福原城を調査した上で必勝の策を練っておりま…
ん?
よろしく
え!! ちょ!!
ワシが憧れ続けた半兵衛殿と初めての共同作業オオ?
官兵衛殿策とは?
いいいいひひっけけけつの計でどうでひょー!!
大丈夫かな…
「囲師必闘」の計ですね?
それで行きましょう


黒田官兵衛
竹中半兵衛
二人の天才軍師が毛利陣営・福原城の攻略に挑む!!
⑬軍師は軍師を知る
我が黒田軍にとっても織田家の下での初めての戦!!
失敗は許されない!!
すでに感無量
憧れの半兵衛殿に「良い策ですね」ってほめられた…
もう死んでもいい…
戦これからー!!

戻ってこい!!



全軍にアピール



緩み


織田軍が城を取り囲みました!!
上等だ!! 逃げ道などいらぬ!!
そうだー
うおおお
死ぬまで戦うぞー
——ただし囲まれたのは三方のみで
裏手は開いております!!
お?
やばくなったら…
そこから逃げられるな…

気持ちが裏手へ


これがこの戦で官兵衛が用いた「囲師必闕」の計
中国の「孫子」の兵法である
ドーン
ドーン
合図だ!! 威嚇しながら押し寄せろー
おおお
城を全部囲んでしまうと城兵は死にもの狂いで戦うが
一方だけ逃げ道を作っておくと弱気になるというものである
どよどよ
い 今のうちに逃げたほうが…

言ったよね？


殿!! 裏手から逃亡者が!!
けしからん!! 今後逃げようとする者は斬れ!!
それが百人…二百人…後を絶ちません!!
ワ ワシも逃げるぞおー
斬っていいのかな…

徹底の男


さらに官兵衛は囲師必闕にもうひとつ工夫を加え
ドドドドド
ザーーッ
え……
逃げ道に
伏兵をひそませていた
あれっ出らんねえ
ひそみすぎだ!!

忘れていい!!



ついでに人助け



共倒れる


官兵衛殿 素晴らしい采配でしたよ
ありがたき幸せぇ!!
多少 事を急ぎすぎるのが気になりますがね…
ゴホ…
半兵衛殿 今日はもう休まれては…
そうですね 皆に感染しては申し訳ないし…
半兵衛殿の病なら感染されても本望であります!!
ゴホ ゴホッ
やめんかー!!

一転 危機に


その後 秀吉軍は上月城も攻略し播磨国を完全に手中に収める
福原城
上月城
信長からも賞賛され名物茶器「乙御前の釜」を賜り すべては順調に進む
いいなー
——かに見えた
播磨東部を広く治める別所長治
我々は二年間織田家の傘下についてきたが…
やはり信長は信用できぬ!!
ばん
毛利家と協力し秀吉を討つぞ!!


一五七八年二月
東播磨の最大勢力
別所長治が織田家に
反旗を翻す
織田家に国を奪われるのは我慢ならん!!
秀吉軍を播磨から追い出すぞ!!
うおおおおお
⑭親娘水いらずの後
順調に進んだ播磨平定もふりだしか…
それどころか状況悪化ですね
しかし
この時
官兵衛はさらに別の心配をしていた
官兵衛殿何か考え事か?
はい
光の事を…
引くわー
こんな時でも嫁さんに会いてえってよー
しらー
ちちがう誤解だ!!
蜂須賀

結局ボコボコ



着物でもわかる



初めての掛け合い



光から見たら



たくましくもなった



姉の行方



本題



え……？
どうして……
官兵衛くんは慈悲深く面倒見の良い男だ
姉の事も大切に扱うだろう
よいか光
世の中には天下を誰が治めるかなど些細な事と考え…
播磨を他所者に好きにさせたくない馴染みの深い者と共に戦いたい
それだけのために命を賭ける者が大勢いるのだ
父上‼ 何の話ですか？
別所家が織田家に反旗を翻す事になった
櫛橋家も別所家と行動を共にする

真意



姫路城
志方城（櫛橋氏）
三木城（別所氏）
頭のいいお前ならわかるだろう…
今日はお別れを言いに来たのだ

強くなる


その後　志方城は織田家の援軍に攻められ
櫛橋伊定は自分の命と引き替えに城兵の助命を願い出て命を落とす
光様…
大丈夫です
私は日本一の軍師になる黒田官兵衛の妻!!
このくらいで落ちこんでなどいられません!!

結果オーライ


今回の一件は光も気落ちしてるに違いない…
手紙ではげまそう…
よし!!
伊定殿に今までの感謝の意をこめて
いずれあの合子形兜をまとい戦場に出るからな!! だから元気出せ!!
殿があの兜を…
ぶっ
カワイイ!!
想像したら元気が出ましたありがとうございます
そういうつもりじゃなかったんだけどな!!


別所長治の謀反により秀吉の播磨方面軍は敵を両面に抱える事になる
毛利氏
宇喜多氏
別所氏
⑮虎穴に入らずんば味方を得ず
絶望死
別所だけでも大変なのに!!
この状況だと近いうちに毛利が来ーるー!!きっと来るーでござる!!
殿 思い出してください
我々は今まで何度も危機に見舞われましたがその都度切り抜けてきたではありませんか
!!
そうでござったな!!
でも今回は今までで一番やばいです
ズドォ
死んだー

半兵衛もさすが



提案者なのに



そんな効果まで



命の心配



精神論か!!


宇喜多家本拠 備前国岡山城
と
殿!!
正気ですか? 一人で丸腰で乗り込むなんて!!
あの宇喜多ですよ!!
そのほうが誠意が伝わるだろう
いいか善助 説得に大事なのは…
心だぜ!!
軍師なら言葉で勝負してください!!
あ

さらっと何を


たたたた
またか……
お待たせしました 黒田殿
これが謀略と暗殺の男 宇喜多直家か…
次の暗殺計画がなかなかまとまらなくて
すげえ理由で待たされてた!!

兄が最恐


今日こうして参ったのは…
暗殺のコツを聞きたいのですか?
全然違くて!!
毛利を離れ織田家の傘下についていただきたく参上しました!!
ご説明いたします!!
ちなみにこの弟の宇喜多忠家
兄の忠実な家来であったが
非道な兄を信用できずに会う時は常に鎖帷子を着こんでいたといわれる

後半やめて


——というわけで五年十年先は天下は織田家の物になります
今のうちにこちらに付いた方が宇喜多家のためと思われます!!
……ふむ
さすが黒田官兵衛殿
ウワサ通りの見識と弁舌ですね
どうです私の配下になりませんか?
からかわないでください!!
ああ失礼
私 逸材を見るとすぐ引き抜くか暗殺したくなってしまうのです
極端すぎませんか!!

かすかな希望


そう簡単に織田家に寝返るわけにはいきません お引き取りを
あと そんなに堂々と来られては私が織田と内通しているとのウワサが立つ
もう来ないでください
宇喜多殿…
くっ……
ん？
「簡単に寝返らない」？「絶対に」とは言ってないな…
それに来るのはダメでも書状ならいいって事か？
？

正念場


だめだったでござるか…
ですが引き続き説得してみます!!
しかし一五七八年四月 最も怖れていた事態が起こる
今までは小手調べでしたが
小早川隆景
今度は全力じゃあ!!
吉川元春
宇喜多忠家
毛利・宇喜多連合軍三万!!
ここ播磨に向かって進軍中です!!

⑯毛利家の「両川」



手はじめに上月城を落とすぞ――!!
上月城
毛利家が誇る戦国最強兄弟が播磨国に侵攻!!
二人はあの毛利元就の息子たち
弟の小早川隆景は頭脳明晰!!
兄の吉川元春は勇猛果敢!!
その上
関係ないだろ!!
その上 非常に慎重だったといわれる
ここはじっくり攻めましょう!!
非常に妻が醜女(ブス)だったといわれる
だってよ
マジか
なんか言ったかそこぉ!!

ほめてるつもり



挑発作戦



戦場でも自慢



なぜ持ってくる



ツキも無し



見捨てる覚悟



無念


上月城
「助けてやれぬから城を脱出せよ」とな…
秀吉殿の心遣いまことに嬉しいが
かつての名門尼子家の当主として逃げるわけにはいかぬ
尼子勝久
最後の最後まで足掻くのみだ!!
これも七難八苦のひとつよ!!
山中鹿之介
後日 上月城は落城し
尼子・山中主従は命を落とす
すまぬ…

謀略の男


毛利は次にどう出る?
さらに攻めて来られたらいよいよまずいぞ!!
ふん!! 城ひとつで満足するわけがなかろう!!
このまま東に進軍し秀吉軍を駆逐して——
兄上お待ちを!!
宇喜多直家が怪しい動きをしております
!!

九死に一生


この遠征 宇喜多家に協力を要請しましたが来たのは弟の忠家…
しかも積極的に戦おうとしていません
さらに!! 直家が織田家の者と面会していたというウワサも入手しました!!
もし後方の宇喜多が織田家に内通しているとしたら今度は我々が危機に陥ります
兵を退き次の機会を待つべきかと
くっ……
宇喜多への不信と小早川隆景の慎重な性格により秀吉は難を逃れる
たすかったー

深く静かに


では秀吉殿 拙者は摂津国に戻ります
村重殿!!
援軍かたじけのうござった!!
心なしかずっと村重殿の様子がおかしかったような…
気のせいか?
後に官兵衛の身に降りかかる大事件の前兆は
この時すでに始まっていた


⑰播磨戦線大混乱
秀吉の毛利攻めの大きな鍵を握っていたのが
この謀将宇喜多直家である
やあどーも吉川殿小早川殿
上月城奪取おめでとうございます
信用ゼロ
…これは直家殿ご病気だったのでは?
治ったので駆け付けましたー
本国に帰られるとの事ですが…
ぜひ我が岡山城にお寄りください 戦勝のおもてなしをしますよ
特技・暗殺
絶対断る!!
二人は素通りして帰ったといわれる

一網打尽


断られましたな 兄上…
そんなに警戒しなくてもいいのにねえ
せっかく
ずどどどど
大がかりな仕掛け作ったのに
ずん!!
この時 直家は本当に暗殺するつもりだったといわれる
世に聞こえる名将二人を… 兄上怖え――!!

弟も大変


二人の首を手みやげに織田家に寝返るつもりだったんです
だからあなたに本気で攻めさせなかったんですよ
な…初耳
解せません!! ここまで毛利家に尽くしてきたのに…
なぜ今寝返るのですか?
カチッ
忠家 声が大きい
消しますよ?
いったいいくつ仕込んでるんですか!!

最恐の味方


今までは隣接する毛利家が怖かっただけの事
さらに強い織田家が西へ進出してきた時から機を窺っていたのですよ
そしてもうひとつ問題が出てきました私の体です
病気がちなこの体ではもう長くはなさそうです
ならば今のうちに天下を取る者に付き宇喜多家を末長く存続させたい…
私は残りの人生を織田家に賭ける事にしたのです
さあ秀吉殿に従属の使者を出しましょう!!

何でも使う


宇喜多直家が
織田方に付くー?
備前・美作を有する宇喜多が味方になれば一気に有利になるでござる
官兵衛殿もお手柄ですよ
説得の手紙と目薬たくさん送ったかいがありました!!
送ったんかい
あ
目薬に毒って仕込めそうですね…
新暗殺技思いついてる!!

重臣の裏切り



大将でしょう



屈辱を与える



ぱんぱん死



さすが我が妻



主君の反逆




⑱主君vs軍師
官兵衛…お主の言い分は良くわかった
苦労が聞こえる
考えておく…今日はもう下がれ
ワシが秀吉殿に協力してる間に小寺家の重臣は皆 毛利派になってしまっていたか…
殿!! どうでした? 政職様は考えを改められましたか?
あ
だべだっだ
声がそんなになるまで熱弁ふるったんですね…

言葉より物


もーがまんならねえ
あのダメ主君!!
今さら毛利にってあほかあ!!
殿!! マジで小寺家捨てて
織田家に仕えようぜ!!
なんなら姫路城の兵で
ヤツの御着城に
攻め込むのもありだな!!
だまれ!! 政職様の
悪口は許さん!!
いーや!! だまらねえ!!!
何もしねえくせに意見
コロコロ変えやがって——
太兵衛!!
酒やるから
だまれ!!
はーい
簡単だな!!

伝わらず


ワシにも
責任はある
もっと日頃から殿に
視野を広げ 機を見る事を
教えるべきだったのだ…
それに殿は
「考えておく」と言った!!
まだ望みはある!!
明日また説得に
行ってみる!!
殿…
忠臣すぎる
その頃
御着城
官兵衛は今後も
ワシが毛利家に
付くのを邪魔しに
来るだろう…
ワシは決めた
官兵衛を消す

逆に失望


見事なご決断です
今は戦国の世
情けは要りませぬ
ただ問題は…
官兵衛を殺せば
姫路城の黒田家が
黙ってはいない事です
兵も五百はいます!!
それについても考えがある
おおっ
め 名案にございます
なんで殿は悪知恵だけは働くんだ…
ついて行くの嫌になるな…

誘導


翌日
ワシは親しくしていた荒木村重の謀反に同調しただけなのだ
もしお主が村重を説得し織田家に引き戻せば
ワシは今度こそ織田家に付こう!!
本当ですか!!
ではさっそく村重の有岡城に向かいます!!
手みやげは――
そうだ!! 目薬一年分だな
たたたた

激しいな!!


ガラ
殿？
おう光!! 遠出するから大事な物を取りに寄ったぞ!!
おまえのくちびるだー
ガサゴソ
玲珠膏の箱詰めどこ置いたかなー
おおありがとう!!

これが軍師か


秀吉本陣
――というわけで村重殿の説得に行ってきます!!
報告しておきます!!
難しいとは思うが…
お主ならやれるかもしれぬ!! 頼んだでござる!!
ははっ!!
無事 成功して帰ってきたら…
兵法書の暗唱会でも開きましょうか
いいですな!!
ええ〜〜〜？ それ楽しいの？

捨てないで



ようやく見つけた



それでわかる



堕ちた主君





別所には秀吉殿
本願寺には佐久間殿
波多野には明智殿…
織田家各将の働きにより
各勢力との連携は
断たれたも同然!!
村重殿!! 今からでも
謀反を撤回し織田家に
帰参すべきです!!
⑲軍師一生の不覚
官兵衛わかってない
しーん…
だんまりか…
そうそう!!
手みやげを用意して
あったのです!!
どうせ
目薬だろう…
大量の
玲珠膏です!!
ぶれない
なーー
大きい器が
無かったので
蔵にあった適当な
茶碗に詰めました
逸品だ!!
器だけ欲しい!!

さすがに不味そう



勝手になってくれ



何も知らない



…おおむね当たりだ!! だがそれだけではない!!
ワシは信長の数々の強引なやり方に嫌気が差したのだ!! あの者に天下を取らせたくないのだ
くっ……
だが拙者も引き下がるわけにはいきません!!
村重殿が謀反を撤回すれば我が主君もそれに倣うと言ってるのです!!
政職様のためにもお考え直しを――
ふっ

やり直し



ふっ…ふはは
ふはははは
……?
…何がおかしいのですか?
はははは
笑わずにおれようか!! 小寺政職のため?
この書状を見よ!!
ばさっ…
（突風）
びゅう
ばさささっ

あの殿なら!!


殿が…
ワシを殺すように…
村重殿に依頼を…?
ガク……
そんな… ばかな…
あ!!
と見せかけて裏に「うっそぴょーん」とか!!
ばっ
書いてないわ!!

為す術無し


ワシが殿を思ってしてきた助言も忠告も…
殿にはわずらわしいものでしかなかったというのか…
者ども出あえぇ——!!
ばん
だだだっ
ガッ
バキッ
ドカッ

半端な温情



軍師だからな!!



でも当たってる



心は折れず







黒田官兵衛の業績は
もちろんですが
彼の誠実で人間味の
あふれる部分も
伝えて行けたらと思います。

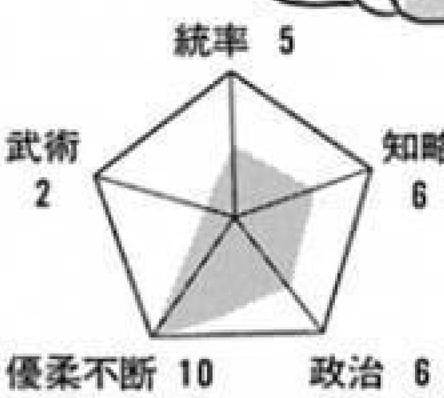
重野なおき

戦国武将名鑑①



小寺政職（こでらまさもと）

播磨国大名
官兵衛の主君
視野が狭く
優柔不断



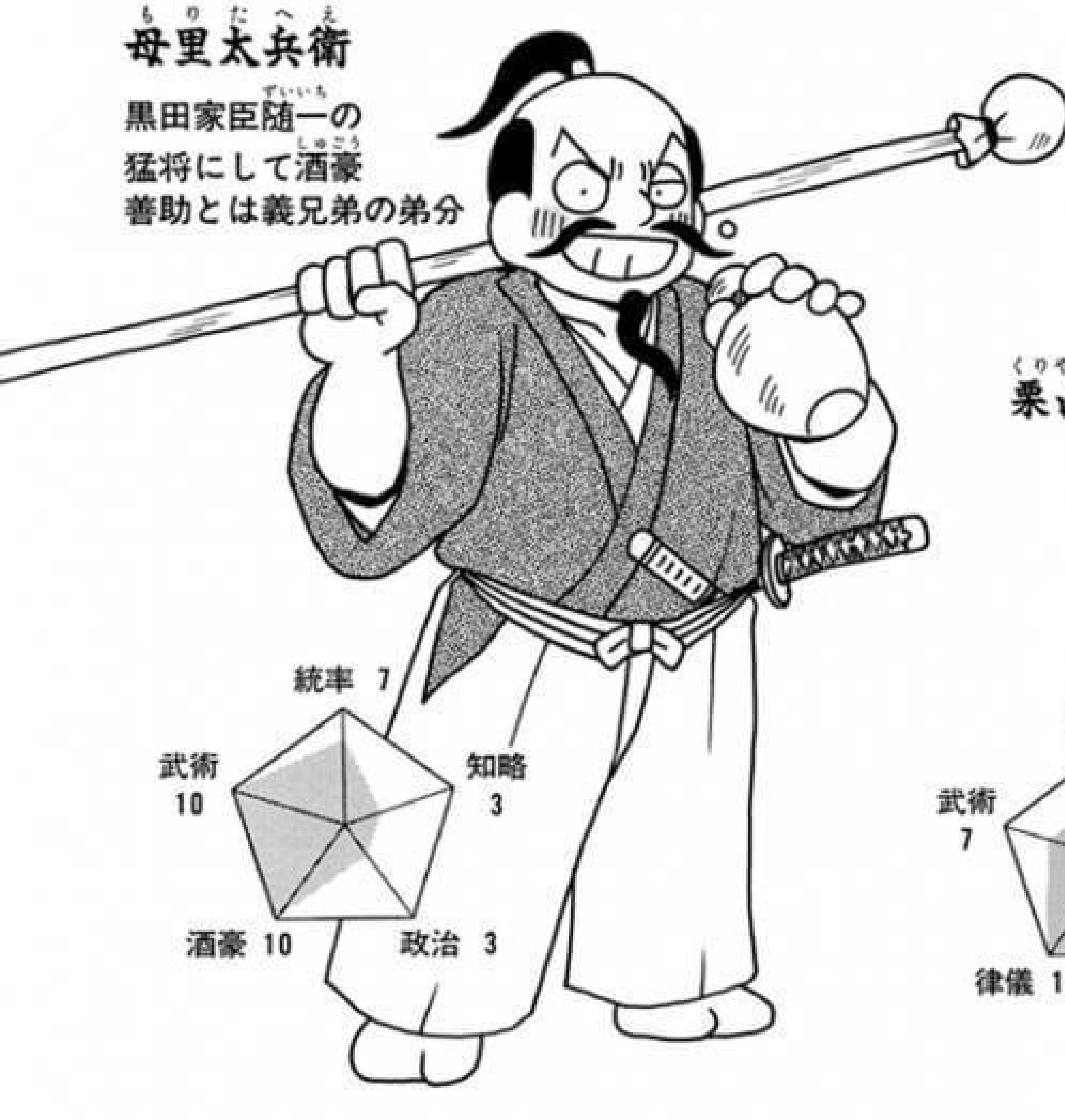
黒田官兵衛（くろだかんべえ）



小寺家臣姫路城主
様々な困難に立ち向かいながら
軍師として戦国の世を駆け抜ける

母里太兵衛（もりたへえ）

黒田家臣随一（ずいいち）の
猛将にして酒豪（しゅごう）
善助とは義兄弟の弟分





栗山善助（くりやまぜんすけ）



黒田家臣
律儀（りちぎ）な性格と頭脳で
官兵衛を支える
太兵衛とは義兄弟の兄貴分


竹中半兵衛
統率 7
知略 10
政治 8
病弱 10
武術 5
秀吉の軍師
かつて稲葉山城を
16人で乗っ取った
天才軍略家
羽柴秀吉
織田家臣長浜城主
草履取りから武功を重ね
出世を続ける
統率 9
知略 7
政治 7
人心掌握 10
武術 5
櫛橋伊定
統率 6
知略 6
政治 7
娘思い 10
武術 3
光の父 志方城主
小寺家の傘下だが
別所家とも友好的
福原助就
宇喜多家臣福原城主
官兵衛半兵衛と戦う
統率 6
知略 6
政治 6
短慮 10
武術 5
浦 宗勝
毛利家臣
英賀合戦で
官兵衛と戦う
統率 7
知略 5
政治 4
熟練 10
武術 8

●初出一覧

「ヤングアニマルDensi」No.1・No.2・No.4・No.7・No.9・No.11・No.13・No.15・No.17・No.19・No.20・No.22・No.24・No.26・No.28・No.30・No.32・No.33・No.35
を再編集の上、収録いたしました。

JETS COMICS

軍師 黒田官兵衛伝 ①

デジタル版

著者 重野なおき
(C)2014 Naoki Shigeno

発行者 菅原弘文
発行所 株式会社 白泉社
発行日 2014年3月1日